

## 第 23 回議会報告会 報告書

地 域 名	出合地域		
年 月 日	令和 4 年 10 月 20 日 (木)	会 場 名	出合コミュニティセンター
開始時間	19 時 30 分	終了時間	21 時 15 分
参 加 数	男性 13 人	女性 0 人	合計 13 人
班 長	浄慶 耕造	司 会 者	足立 隆啓
報 告 者	浄慶 耕造、谷垣 満、 川瀬 稔、足立 隆啓	書 記	浄慶 耕造
班 員 名	谷垣 満、足立 隆啓、川瀬 稔、浄慶 耕造		
	市 民	対 応	
意見交換会での質疑	<p>① 高齢化社会の中で、弱者支援を必要とする課題が多い。市との会議では何度も課題を出す、毎回リセットされてしまい、解決に向けた会議にならない。社会性のある問題だから公民連携で進めてほしい。そのためにも市議会の後押しを望む。</p> <p>② 市議会の役割とは何か。地元から出てきた意見を要望するだけでなく、いかに市の政策に反映させるかが大事である。市内の自治協は連携が取れておらず、課題もばらばらである。自治協をさらに発展させるために、各自治協に職員を配置し、地域サービスの窓口となるほか、地域の振興につながる政策や、地域の独自性のある活動などを考えてほしい。</p> <p>③ 本線は市が除雪をするが、生活道路である支線はしてもらえないので、区民が交代で除雪をしている。除雪路線になっていないため、費用弁償や除雪機の燃料費も市からは出ない。市内でも同じようなところが沢山あるのではないかと。議会でも調査し、改善の方向でお願いしたい。</p>	<p>① 同じ課題を抱えている自治協は課題を共有し、そこに市も一緒になって解決に向けて考える会議を開催してほしいと市には要望している。自治協には課題解決に向け行動をおこしてもらい、議会も市に対して問題解決できるように提言したり、支援をしてもらえるよう訴えていきたい。</p> <p>② 市が目の届かないところに議会がスポットをあて、政策に反映していくことが求められる。しかし、議員も職員も市民の中に出向く機会が少ないのは事実で、もっと市民の声に耳を傾けなければならないと思う。自治協ごとに担当職員が配置され支援はしているが、常駐という意見も出た。若い職員が担当するのも一つの考えだ。</p> <p>③ 豪雪地域など地域差があり、市全域を同じルールにはめ込むのは無理がある。議会でも問題解決に向け考えていきたい。</p>	

市 民	対 応
<p>④ 鹿倉口から小路頃間で市道の橋の架け替えが行われているが、その完成後には観光バスのすれ違いができるよう、市道の整備を考えてほしい。 鹿倉口から尾原の県道部分は狭小な上に落石崩落が絶えないところで、台風ではすぐに通行止めになる。ここを数珠つなぎのバスが下るが、地元ではいつか大変な事故が起こると心配している。議会も動いてほしい。</p> <p>⑤ 市は大きな目立つことには力を入れているが、足元の小さなお困りごとには割と対応が遅い気がする。議会にも丁寧な取り組みを望む。</p> <p>⑥ 空き家が危険家屋になっている。飛んできたトタンなどは撤去したが、市で対応をお願いしたい。建物がある方が固定資産税が高いということに養父市だけでもできないものか。</p> <p>⑦ ガソリンスタンドが減って一層の燃料高がこたえる。ガソリンスタンドの誘致ができないか。</p> <p>⑧ 自治協で相談かけたいことがあれば、個別の議員でなしに、事務局に連絡すれば来てもらえるのか。</p>	<p>④ 地元からの要望書をもとに、議会としても解決に向け働きかけたい。</p> <p>⑤ 同様の声が多くあることは認識している。市民の声をまとめて取り組んでいきたい。</p> <p>⑥ 今年度初めて行政代執行の予算を組んでいるが、法的な手続きを経なければならないので時間はかかる。地元区や自治協と連携して空き家対策に取り組む補助制度もできたので、議会も含めて話し合いながら前に進めたい。</p> <p>⑦ 地域循環経済ということで考えると、廃業や撤退はできるだけ防がなくてはならない。地域を守るために行政の力も必要だ。ガソリンスタンドも大事なインフラだ。撤退した後を地元が経営して行政が支援しているところもある。ただハードルは高い。住み続けるために大事なものをひとつひとつ取り戻していく取り組みが大事だ。議会も一緒に頑張る。</p> <p>⑧ 当然連絡いただければ、一緒に考えさせてもらう。</p>

意見交換会での質疑

市 民		対 応
その他 (提言など)		
備考 なし		

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

令和4年11月6日

報告者 4班 班長 浄慶 耕造